+nn		88=# /= c=	亚世20年度 (2047年度)		1427HT 1/1 C	#==-> -/ > > 4		
有明工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2	.01/年度)	授業科目	英語コミュニケーションA		
科目基礎情報								
科目番号	0020			科目区分	一般 / 達	一般/選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	数 履修単位	履修単位: 3		
開設学科	機械工学科			対象学年	学年 3			
開設期	通年			週時間数	前期:2 征	前期:2 後期:2		
教科書/教材 Mainstream English Communication III:增進堂 高校英語 Harvest 3rd Edition:鈴木希明 / 桐原書店 Date Base 3000 3rd Edition:桐原書店								
担当教員	徳田 仁	•	·	·				
到達日標								

|到连日倧

- 到達目標 1. まとまりのある英語の文章の概要や要点を読み取ることができる。 2. 目的に応じて英文の内容を整理して読み取ることができる。 3. 文章の内容を理解したうえで、それについて自分の考えを表現することができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安			
評価項目1	英文をスキャンリーディングし、 速やかに必要な情報を見つけるこ とができる。	英文を読み、時間をかけて、必要 な情報を見つけることができる。	英文を読んで、必要な情報を見つ けることができない。			
評価項目2	英文の構成を把握し、筆者の主張 やキーワードを完全に説明できる 。	英文の構成を認識し、筆者の主張 やキーワードを指示することがで きる。	英文の構成を認識できず、筆者の 主張やキーワードを指示すること ができない。			
評価項目3	英文を読み、その内容を活用して 、自身の考えを他者に説明するこ とができる。	英文を読んで、その内容と自身の 考えを比較することができる。	英文を読んでも、そ の内容と自身 の考えを比較することができない 。			

学科の到達目標項目との関係

学習教育到達目標 A-1 学習教育到達目標 A-3

教育方法等

概要	3年生の英語コミュニケーションAでは、教科書の奇数レッスンを対象として授業を行う。語彙力の増強と1・2年生で 習得した英文法の総復習を行う。また教科書による授業と並行してTOEIC Bridgeの模擬テストを行い、4年生での TOEIC IP 一斉テストを想定した実戦形式で語彙力・文法力の確認を行う。
授業の進め方・方法	授業は教科書をもとにした講義中心で、板書も行う。また各レッスンに付随した小テスト・TOEIC Bridge模擬テストも並行して行う。
注意点	教科書や配布されたプリント等は、忘れずに必ず授業に持参すること。また長期休暇中は与えられた課題をこなし、休暇明けの課題試験にきちんと備えること。課題試験のウェイトは定期試験と同等とする。冬休み明けには英語運用能力実力テストのA.C.E.テストを実施するが、こちらの結果は平均点を基にしてA.C.E.テストスコアを調整後、春・夏課題試験と同じウェイトで総合成績に加味する。週時間数は、前期2+後期1の配当。

授業計画

127/21		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期		1週	課題試験の返却・解説 授業の Introduction	課題試験を自己採点し、なぜ間違ったかを確認できる。 授業の概要を理解できる。
		2週	Chapter 1 The Legacy of Kano Jigoro ① Part 1	嘉納治五郎の生涯とその功績を時系列を追って理解できる。
		3週	② Part 2	時間的順序を示すディスコースマーカーを理解できる。
	1stQ	4週	③ Part 3	例示・列挙・新情報の追加の表現を意識して読むこと ができる。
		5週	4 Part 4	それぞれのディスコースマーカーと、その後に続く内 容を把握できる。
		6週	Chapter 3 Mona Lisa —The Way to Fame— ① Part 1	モナ・リザが有名な絵となった経緯を理解できる。
		7週	② Part 2	言い換え、要約・結論を示すディスコースマーカーを 理解できる。
		8週	前期中間試験	
		9週	3 Part 3	原因・理由と結果の表現を理解できる。
		10週	4 Part 4	それぞれのディスコースマーカーと、その後に続く内容を把握できる。
		11週	Chapter 5 Life and Tax ① Part 1	日本とフィンランドの税制の違いを読み取り、それぞれの特徴を理解できる。
	2540	12週	② Part 2	逆説・対比のディスコースマーカーを理解できる。
	2ndQ	13週	③ Part 3	スキャンニングを実施する上でのキーワードを見つけ 出すことができる。
		14週	④ Part 4	④ Part 4スキミングを実施する上でのキーワードを見つけ出すことができる。
		15週	前期末試験	
		16週	前期末試験答案返却・解説	
後期		1週	夏課題試験答案の返却・解説	夏課題試験を自己採点し、なぜ間違ったかを確認できる。
	3rdQ	2週	Chapter 7 Expanding World Population ① Part 1	世界人口がどのように変遷しているかを読み取ることができる。
		3週	② Part 2	グラフの数字に関わる表現を理解することができる。

		4週	③ Part 3			グラフの数字を把握しながら、グラフに示された内容 を理解できる。				
		5週	④ Part 4			グラフの数字を読み取った上で、英文に書かれた内容 を理解できる。				
		6週	Chapter 9 Theorie Part 1	s about Dinosaur	Extinction	3人の生徒の主張の内容を理解させ、それぞれの意見の 違いを把握することができる。				
	7週		② Part 2			主張している内容の根拠とその結論を理解できる。				
	8週 後期中間試験									
		9週	③ Part 3			主張が示されている表現を探し出し、主張の要点を理解できる。				
		10週	④ Part 4			主張の根拠の例示と、根拠の例示から導かれる結論を 理解し、英文のパラグラフ構成を理解できる。				
		11週	Chapter 11 Why do we lie? ① Part 1			人はどの程度の頻度でうそを言っているのかを理解できる。				
4	4thQ	12週	② Part 2			うその仕組みを解明する実験の内容とその結果を理解 できる。				
		13週	3 Part 3			未知語を文脈の中で類推することができる。				
		14週	④ Part 4			うその仕組みを解明する実験の内容がどのパラグラフ 構成方法で展開されているかを理解できる。				
		15週	学年末試験							
		16週	学年末試験答案の返	却と解説						
モデルコ	アカリコ	Fユラムの	学習内容と到達	目標						
分類										
評価割合										
	試	———— 験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計		
総合評価割合 80			0	0	0	20	0	100		
基礎的能力 80		0	0	0	20	0	100			
専門的能力 0			0	0	0	0	0	0		
分野横断的	分野横断的能力 0		0	0	0	0	0	0		